

令和3年 園内研究テーマ
 「輝く芽を育てよう」
 ~遊びに関わり、豊かな心を育む~

さくらんぼ組 (0歳児)

入園してから初めての経験をたくさんしてきました。保育教諭が側にいることで安心感を得て、いつもの場所でする遊びから心地よさを感じ感性が育っています。
 そんなさくらんぼ組さんが初めて雪に触れてみると…どんな反応が見られるのでしょうか。

タライに雪を入れて子ども達の側に置いてみると…(1回目)

ぷい!!



んーっ!



初めて近くで見る雪。何これ?保育教諭からどうぞと渡されて…

♥直感的に考える
 どの子もまずはじっくり見えています。
 ◆諸感覚で感じる、触れる
 快・不快の表情やしぐさ、声を出す、いやだな…とそっぽを向いたり雪から逃げようとしたりしてその場にいることを拒みます。泣き出しそうにもなります。

いやだな…
 でも…



タライに雪を入れて子ども達の側に置いてみると…(2回目)

雪あそび2回目。保育室、ホールでした時の様子です。

♥思いや欲求をありのまま受けとめてもらい、自分を肯定する気持ちをもつ。
 嫌だな、でもやってみようかな先生見てね。の子ども達の気持ちが伝わってきます。
 ★やりたいことに向かって自ら行動し、主張する
 安心できる保育教諭の見守る中なら「触ってみようかな」という思いにもなります。
 ◆♥思いを表す
 何これ?ドキドキ、冷たいな、気持ち悪いな、など触れることで様々な感覚(温度や触れた時の感触)を知ることができます。

こんな姿も見られました☆



何これ!!
 冷たい!!

◆五感で感じる
 何気なく口に入れたものが驚くほどの冷たさだったのでしよう。この年齢の子ども達にとっては未知との遭遇です。口の中に入れて様々な感覚を確かめる時期でもあります。しっかりと表情に表れていますね。

雪の存在を知り、自分達から触りに来る姿が見られました。腕、指先もよく動かすようになりタライの周りには雪がたくさんこぼれるようになりました!



♥思い通りに体を動かす楽しさを感じる。
 ★行動を共有する。
 友達のしている事を見たり友達と一緒にしたりすることが安心して楽しめる時間になっています。また、したい事に向かって膝立ちする、指先を動かす等全身を使って遊ぶ姿が見られます。

毎日の生活の中でたくさんのお会いがあります。人との関わりであったりものとの関わりであったり…子ども達が心を動かされる瞬間の連続をその都度受け止め、見守りながら「初めての経験」を子ども達と一緒に楽しんでいきたいです。